



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

上場取引所 東

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 2021年1月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,009	19.3	98		95		68	
2020年3月期第3四半期	4,965	9.8	428	11.6	426	6.4	289	10.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 68百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 291百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	14.20	
2020年3月期第3四半期	58.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	6,073	3,828	63.0	790.27
2020年3月期	6,395	4,018	62.8	829.41

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,828百万円 2020年3月期 4,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		25.00	25.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	18.3	5	99.3	10	98.6	0	100.0	0.00
	~5,780	~16.4	~105	~85.4	~100	~86.2	~70	~86.7	~14.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,955,000 株	2020年3月期	4,955,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	110,305 株	2020年3月期	110,263 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	4,844,728 株	2020年3月期3Q	4,929,152 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、景気支援対策の効果等により一部消費回復の動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染再拡大が明らかになってきたことにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは「①目指すべき新市場における新しい販売モデルの確立、②新市場において競争力のあるソリューションへのレベルアップ、③サービス分野のレベルアップと持続的な成長基盤の確立、④グループ経営のレベルアップと人材育成」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には「①DX実現に向けた新しい販売モデルの構築」として、トッパン・フォームズ株式会社（代表取締役社長：坂田 甲一、以下 トッパンフォームズ）と BPM パートナ契約を締結いたしました。トッパンフォームズが推進する AI-OCR や RPA などの先進的なデジタル技術を活用した業務効率化に向けた取り組みに、「intra-mart®」を活用することで、提供サービスの質の高度化を実現し、DXを一段と推進いたします。また、総合人材サービス・パーソルグループのパーソルプロセス&テクノロジー株式会社（東京都江東区、代表取締役社長：横道 浩一）のグローバル開発を推進する社内カンパニーである「Global Bridge COMPANY」と、テレワークをはじめとした多様な働き方で求められる「脱はんこ」や「ペーパーレス化」に向けて、セールスパートナ契約を締結いたしました。業務全体のプロセスの最適化・自動化ソリューションを多くのお客様に提供していただけるよう両社の連携を強化し、企業の生産性向上に貢献してまいります。

「②ソリューションの競争力強化、③サービス分野の大幅な強化と持続的な成長」として、弁護士ドットコム株式会社（本社：東京都、代表取締役：内藤 陽介）が提供する Web 完結型クラウド契約サービス「クラウドサイン」のプロダクト連携いたしました。10万社以上の導入実績を誇る日本国内シェア No.1のクラウド型電子契約サービス「クラウドサイン」との連携により、「intra-mart®」は、官民で広がる「脱ハンコ、ペーパーレス」の取り組みを推進し、政府・行政・企業・ユーザ間で行われるあらゆる契約プロセスをデジタル化し、利便性向上と業務の効率化を実現します。また、一般社団法人日本 OMG（統括本部：東京都港区、代表理事：吉野晃生）と、OMG 認定資格試験「OCEB 2」の日本語版の提供に伴う企画・運営において協業することを発表しました。BPM（Business Process Modeling）分野を中心にビジネスプロセス管理や関連するフレームワークの知識とスキルを測定する世界標準の認定資格試験を通じて、業務改革を力強く推進する人材育成を強化し、企業によるDXの実現を支援します。

当社グループが事業を展開する情報サービス産業におきましては、企業競争力強化や人手不足に対応するための合理化、省力化を背景に情報通信技術を活用した新たなビジネスモデルや変革によるDX（デジタルトランスフォーメーション）のニーズが高まっている一方、顧客企業においては感染拡大への警戒から案件の延伸や新たな設備投資を慎重に見極めていることが伺えます。当第3四半期連結累計期間における事業活動は、徐々に持ち直しの兆しはあるものの、今期売上に結びつく営業活動が思うように進まず、新型コロナウイルス感染拡大の影響による売上の減少及び不採算案件の発生などによる利益の減少により厳しい状況となりました。

この結果、当社グループの2021年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,009,130千円（前年同四半期比19.3%減）、営業損失98,009千円（前年同四半期は営業利益428,859千円）、経常損失95,346千円（前年同四半期は経常利益426,588千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失68,816千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益289,259千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は、(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）【セグメント情報】をご参照ください。

① パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナーを通じて販売しており、Accel-Martや保守等のストックビジネスは堅調に推移した一方、ライセンス販売は持ち直しの兆しはあるものの、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は2,790,757千円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、プロジェクト開始時期や検収の遅れ等により、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は1,218,373千円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

(当社グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産は、売掛金が減少したことにより、6,073,056千円となり、前連結会計年度末に比べ322,437千円、5.0%減少となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が減少したことにより、2,244,430千円となり、前連結会計年度末に比べ132,801千円、5.6%減少となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより、3,828,625千円となり、前連結会計年度末に比べ189,635千円、4.7%減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

長引くコロナ禍の先行き不透明な状況から顧客企業の新たな設備投資意欲の低下や検討延伸が相次ぎ、当社グループにおいても影響が大きく現在の受注状況等を精査し、2020年12月22日に「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正し、レンジ形式による開示に変更いたしました。

厳しい経営環境が続き、予断を許さない状況にありますが、ターゲット分野の見直し・強化、クラウドサービスへの集中投資、販管費コストの抑制に努め、環境変化に応じ、的確な経営判断を行っていくことで業績改善を図ってまいります。

なお、レンジの上下限は主に今後のパッケージ事業におけるライセンス販売の受注状況の良否によって変動する想定で算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,245,736	3,013,557
売掛金	1,051,302	419,046
たな卸資産	20,037	145,994
その他	150,888	342,653
流動資産合計	4,467,964	3,921,252
固定資産		
有形固定資産		
建物	169,759	170,291
減価償却累計額	△53,384	△61,868
建物(純額)	116,374	108,422
工具、器具及び備品	153,081	152,005
減価償却累計額	△83,087	△92,152
工具、器具及び備品(純額)	69,994	59,852
有形固定資産合計	186,368	168,275
無形固定資産		
ソフトウェア	709,754	1,088,808
ソフトウェア仮勘定	412,300	254,857
その他	72	72
無形固定資産合計	1,122,127	1,343,738
投資その他の資産		
投資有価証券	212,798	208,301
敷金及び保証金	202,382	201,967
繰延税金資産	202,653	229,475
その他	1,197	44
投資その他の資産合計	619,032	639,789
固定資産合計	1,927,528	2,151,803
資産合計	6,395,493	6,073,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	396,834	231,134
未払法人税等	122,611	-
前受金	999,612	1,164,178
賞与引当金	119,655	32,659
その他	207,799	225,166
流動負債合計	1,846,514	1,653,139
固定負債		
退職給付に係る負債	453,904	514,124
資産除去債務	76,812	77,166
固定負債合計	530,717	591,290
負債合計	2,377,232	2,244,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	2,973,175	2,783,241
自己株式	△398,515	△398,654
株主資本合計	3,982,172	3,792,098
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	36,088	36,527
その他の包括利益累計額合計	36,088	36,527
純資産合計	4,018,261	3,828,625
負債純資産合計	6,395,493	6,073,056

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,965,832	4,009,130
売上原価	2,714,792	2,328,830
売上総利益	2,251,039	1,680,299
販売費及び一般管理費	1,822,180	1,778,309
営業利益	428,859	△98,009
営業外収益		
受取利息	30	30
受取配当金	1,500	100
協賛金収入	7,650	7,250
その他	111	2,282
営業外収益合計	9,292	9,662
営業外費用		
固定資産除却損	0	199
持分法による投資損失	3,399	3,296
為替差損	8,163	3,503
営業外費用合計	11,563	6,999
経常利益	426,588	△95,346
税金等調整前四半期純利益	426,588	△95,346
法人税等	137,329	△26,530
四半期純利益	289,259	△68,816
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,259	△68,816
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,626	438
その他の包括利益合計	2,626	438
四半期包括利益	291,886	△68,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,886	△68,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,923,986	2,041,845	4,965,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,507	450	53,957
計	2,977,494	2,042,295	5,019,789
セグメント利益	870,453	139,636	1,010,089

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,010,089
セグメント間取引消去	3,226
全社費用(注)	△584,455
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	428,859

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,790,757	1,218,373	4,009,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,799	—	15,799
計	2,806,556	1,218,373	4,024,929
セグメント利益又は損失(△)	640,687	△148,356	492,330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,330
セグメント間取引消去	2,984
全社費用(注)	△593,325
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△98,009

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「Digital Process Solutions(以下、DPS)」の主たる事業がサービス事業からパッケージ事業になったため、従来「サービス事業」に含めていた「DPS」のセグメント区分を「パッケージ事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。